

はじめに

このたびは理研圧力鍋をお買いあげいただき、ありがとうございました。

圧力鍋は、本体とふたとをパッキンにより密着させて蒸気を閉じこめ、内部の圧力を高めて調理する鍋です。内部の圧力がある程度高まると、蒸気を少しずつ逃がす装置が働き、内部の圧力は一定に保たれます。正しくお使いいただければ危険はありませんが、誤った使い方をしますと思わぬ事故につながります。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、取扱説明書は読んだあと、必ず保管してください。また、知人にお貸しになる時は取扱説明書、付属品も忘れずに添えて下さい。

**注意** これだけは必ず守って下さい。

※下記の諸事項を守らないで万一、事故が生じた場合は、使用者の責任となりますので、ご了承ください。

**1** 材料を入れすぎないこと。



1回の調理量は材量や水、調味料を合わせて鍋の深さの(2/3)までを最大量としてそれ以下で調理をしてください。(鍋の内側に水位サイダイのマークが表示されています。)

**2** 豆料理は1/3以下で調理すること。



豆類などのように煮ている間にかさの増えるものは、豆と水を合わせた量が(1/3)以下で使用してください。特に大豆のように皮のはがれやすい豆は、付属品の中すを使い、落としふたがわりにしますと皮がノズルに詰まることを防げます。(鍋の内側にマメサイダイのマークが表示されています。)  
※大豆等を使いくり返し連続使用の際も蓋を閉める前にその都度ノズルの点検をして下さい。

**3** 重そう、多量の油・酒(アルコール)などは、使わないこと。



重そうなど急激に多くの泡の出るもの、多量の油・酒などは危険ですから、調理しないでください。またシチューやポタージュなど粘性が強く糊状になるものは、別のふたを用い圧力をかけないで調理しましょう。

**4** 空炊きしないこと。



空炊きをしますとノズルから蒸気が出ず、自然におもりは止まります。パッキンを傷め蒸気もれの原因になりますのでご注意ください。その他、とって(持手)、安全弁等の場合は最低1カップ(200cc)を入れることを忘れないように) また、過剰加熱をしない

**5** 加熱中は鍋を動かさないこと。

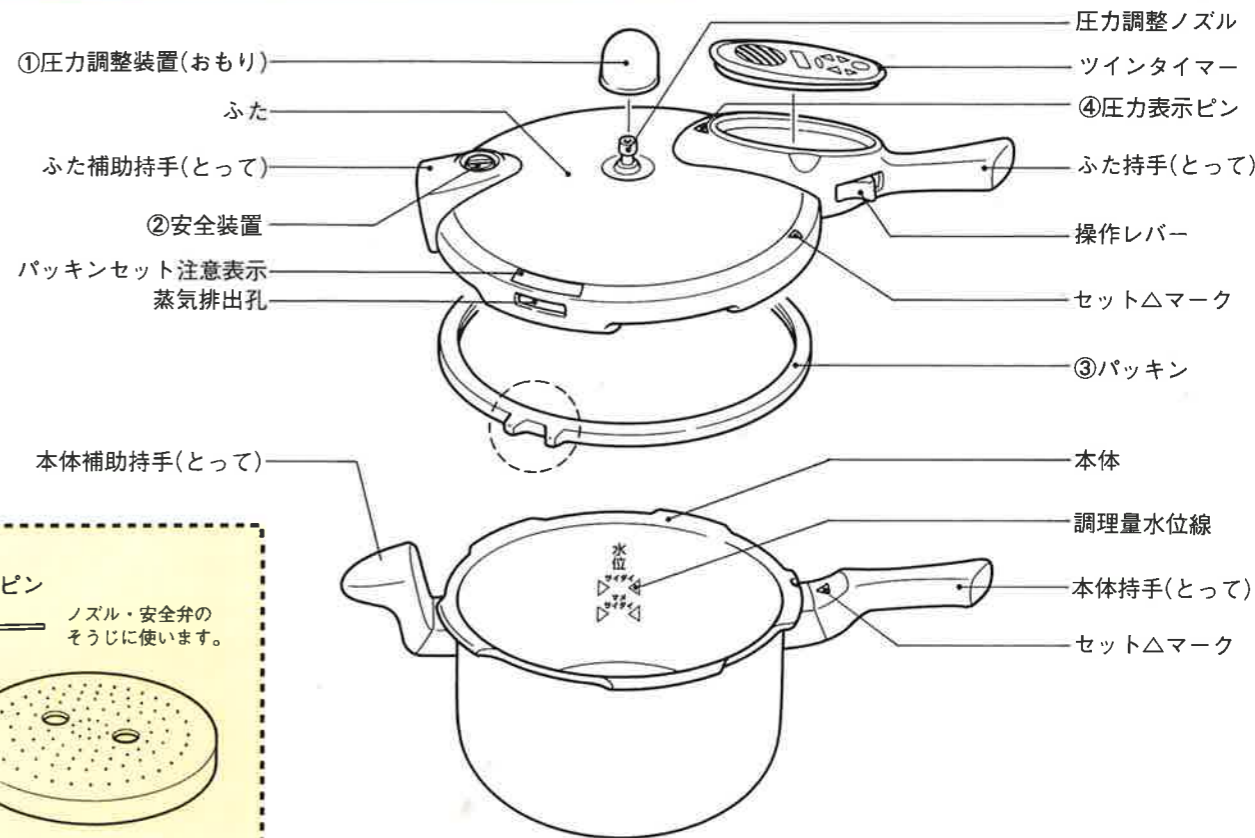


いったん火にかけたら、おもりをはずしたり、ふたを無理に開けようとしていたり、ぐらつかせると、急に蒸気が出て大変危険です。もし動かすような場合は静かに取り扱ってください。

**6** ふたを開けるときは、蒸気を抜いてから。



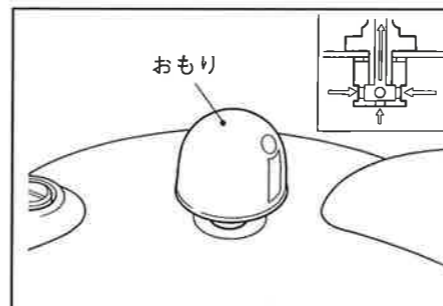
調理後、火を止めても圧力鍋の内部には、まだ圧力が残っています。外気と同じ圧力になるまでは、ふたは開かない構造になっています。必ず圧力が下がったことを確認したうえでふたを開けましょう。  
※急冷の方法は5ページを参照してください。



付属品

1. クリーングピン  
ノズル・安全弁の  
そうじに使用します。
2. 中す  
蒸しものや、  
落としふた  
として使用します。

**1** 圧力調整装置(おもり)



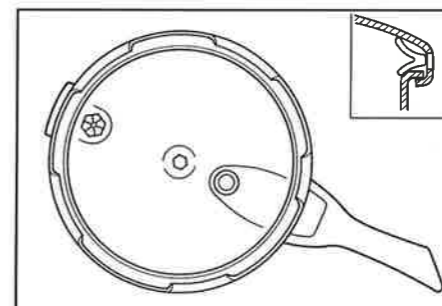
沸騰するとゆれ始め、ノズルから余分な蒸気を逃がし、圧力鍋の中の圧力を一定に保ちます。ゆれ始めたら火を弱め、わずかにゆれる程度で十分です。

**2** 安全装置

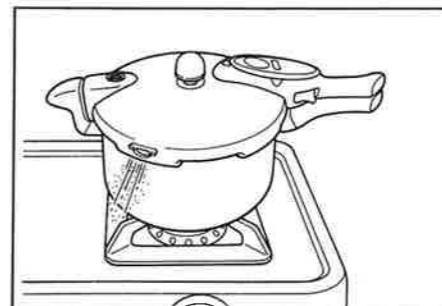


万一、ノズルから蒸気が出ない場合には、作動し、蒸気を逃がします。(裏面の取り付けナットは、特殊形状の袋ナットを使用し、異物が詰りにくい構造です。)

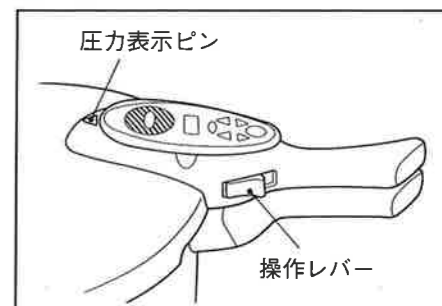
**3** パッキン



ノズル、安全装置から万一蒸気が抜けられない場合には、ふたの横の蒸気排出孔から、下図のように蒸気が下向きに抜ける構造です。



**4** 圧力表示ピンとロック機構



圧力表示ピンは内部に圧力がかかると上昇し、圧力が抜けると下がります。圧力表示ピンを目安に内部の圧力の有無を判断してください。

ロック機構は、本体とふたの各持手(とって)が重なると内部の圧力が上昇しない機構で、内部に圧力がある場合は、ふたが開けられない構造です。圧力がなくなると操作レバーでロックが解除できます。

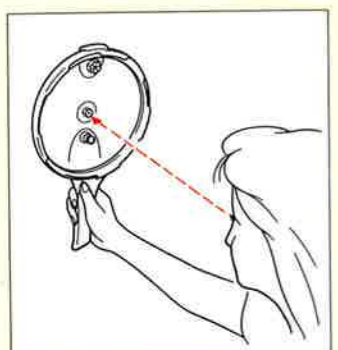
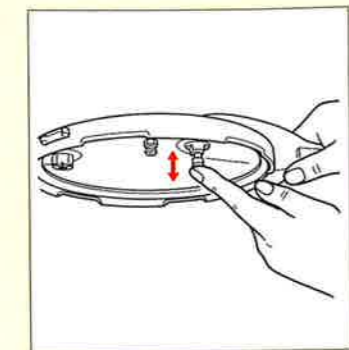
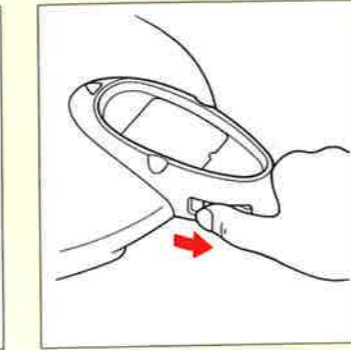
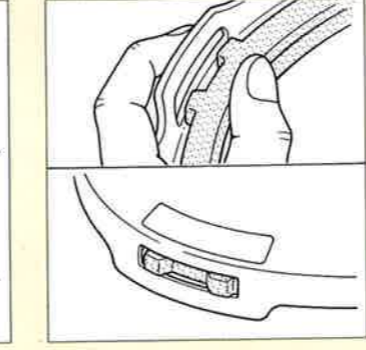


# 圧力鍋はこの手順でお使い下さい

材料：水 400cc 加熱時間 1分 蒸らし時間 2分の場合


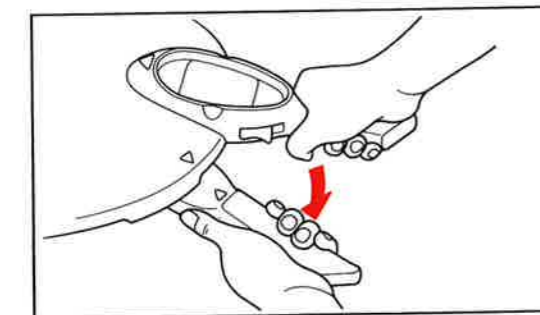
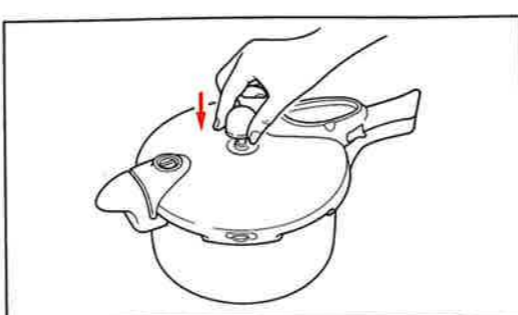
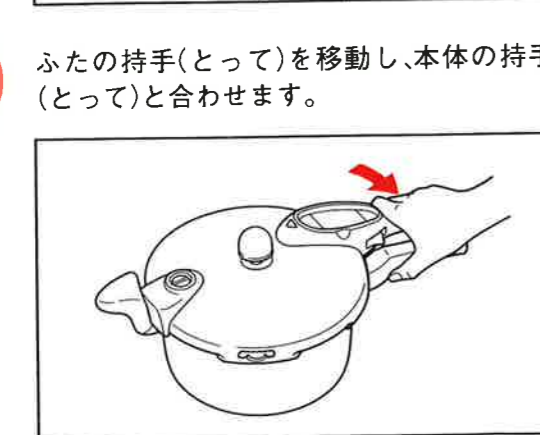
## ●まず点検してください。

圧力鍋を正しく使っていただくために、次の点をご使用前に確かめてください。

<p><b>1 ノズル</b></p>  <p>ふたのノズルの孔をのぞき目づまりしていないことを確認してください。</p>	<p><b>2 圧力表示ピンとロック機構</b></p>  <p>ふたの内側からロックピンを押し上げ表示ピンと一っしょに軽く上下することを確認してください。</p>	<p><b>3 操作レバー</b></p>  <p>操作レバーを手前に引きスムーズに動くことを確認してください。</p>	<p><b>4 パッキン</b></p>  <p>ふたの内側からパッキンを見て、所定の位置にあるか確認してください。</p>
--	---	--	---

圧力鍋の使い方を覚えるために、下記の手順で調理をせず、水を入れて実際に使ってみましょう。

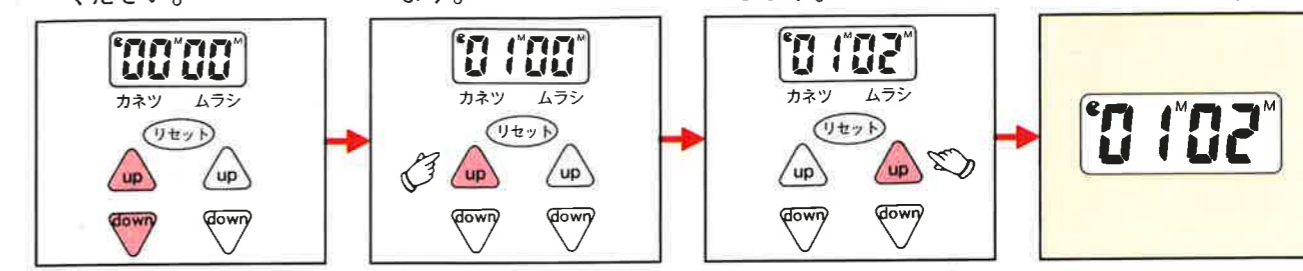
## ●材料(水)を入れふたをセットします。

<p><b>1</b> 水2カップ(400cc)を鍋に入れて下さい。</p>	<p><b>4</b> セットの完了をカチッと音がお知らせします。</p> 
<p><b>2</b> ふたの▽マークと本体の持手(とって)の△マークを合わせ、ふたをかぶせます。</p> 	<p><b>5</b> おもりをノズルにのせ、まっすぐに入れて下さい。(傾けてセットしますと蒸気もれの原因となります。)</p> 
<p><b>3</b> ふたの持手(とって)を移動し、本体の持手(とって)と合わせます。</p> 	

## ●タイマーをセットします。タイマーの操作方法については8ページを参考にしてください。

**6** タイマーを加熱時間1分、蒸らし時間2分にセットします。

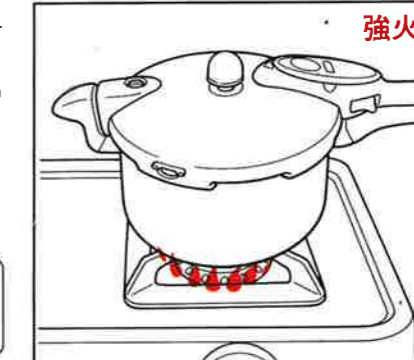
①リセット状態にして下さい。 ②加熱時間をセットします。 ③蒸らし時間をセットします。 ④タイマーのセットが終わりました。



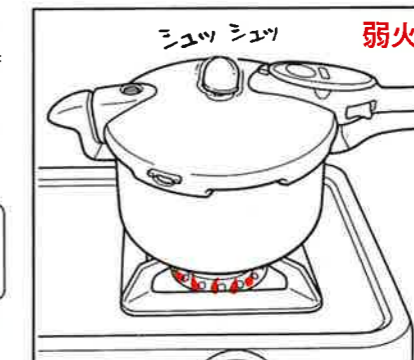
左側(カネツ)の▲▼キーを同時に押します。同様に右側(ムラシ)の▲▼キーを同時に押します。同様に右側(ムラシ)の▲キーを2回押します。(押すたびにピツピツと音がします。)

## ●火にかけます。


**7** タイマーを圧力鍋のふた持手上の所定の位置に置き、鍋をレンジにのせ点火します。(早く沸騰させるために強火にします)



**8** シュッシュュツという音と同時におもりが動き始めたら、加熱時間は始まりです。火を弱め、タイマーのスタートキーを押してください。



**9** 加熱時間の終わりをタイマーがお知らせしたら、火を止めてください。ここから蒸らし時間に入ります。(アラームは30秒間鳴り続けますので、リセットキーをのぞくいずれかのキーを押して止めてください。)



右側のMマークが点滅します。(3回コールします)

強火 点火してしばらくすると表示ピンが上昇し、鍋内部に圧力が加わりはじめたことがわかります。この表示ピンの上下を目安に鍋内部の圧力の有無を判断してください。

弱火 シュツ シュツ 加熱時間のスタートです。火を弱めて下さい。

消火 ビビビビッ... 加熱時間が終わりました。火を消してください。蒸らし時間がスタートしました。

※火を消してもしばらくは100℃以上を保ちます。またこの間圧力表示ピンが下がっても100℃近い温度を保ちますので十分蒸らせます。



# こんな時はどうしたらよいか

## ●トラブル対処法

圧力鍋で調理中に安全装置、及びふたの回りから蒸気もれがあったら、あわてずにはまず火を止めて下さい。トラブルは下記の現象に合わせて対処してください。

現象	原因	処置
ふたを開けるときいつもより重く感じる。	①内部に圧力が残っている。	→ おもりをはずし減圧。 → 急冷減圧する。
圧力表示ピン部より、蒸気が出て、ピンが上がらない。	①本体とふたのセットが不完全である。 ②ロック弁に調理カス等が詰っている。 ③火力が弱い	→ おもりをはずし減圧。ふたを開け、再びセットする。(ふた、本体の持手(とって)を確実に合わせる。) → 急冷 ふたを開け、ふたを水で冷やす。ロック弁本体をふたから取りはずし、流水で掃除する。 → 強火にし、おもりが動いたら火を弱める。
圧力表示ピンが上がり、しばらくたっても、おもりが動かない。	①おもりの取付けが悪い。 ②ノズルに調理カス等がついている。 ③水や調理物が入っていない。(空炊き)	→ しっかりとノズルにセットする。 → 急冷 ふたを開け、クリーニングピンでノズルの調理カス等を取り除く。 → おもりをはずし、減圧。鍋内部を確認する。
安全装置から、蒸気が出る。	①安全装置に異物(調理カス等)が詰っている。 ②ノズルが詰っておもりが作動しない。	→ おもりをはずし減圧。ふたを水で冷やす。安全装置を分解し、掃除する。 → 急冷 ふたを開け、ふたを水で冷やす。ノズルの調理カス等を取り除き、安全装置を掃除する。
ふたの周辺から蒸気が出る。	①パッキンの入れ方が誤っている。 ②パッキンが傷んでいる。 ③ノズルと安全装置に異物が詰っているため、作動しない。 ④油脂分がパッキン・本体・ふたに付着している。	→ おもりを取りはずし減圧。パッキンが正しい位置に納まっているかを確認する。パッキンを交換する。(当社指定品を使用) → 急冷 ふたを開け、ふたを水で冷やしてからノズルと安全装置を掃除する。 → 中性洗剤等で洗い落とす。
減圧しても圧力表示ピンが下がらない	①内部にまだ圧力が残っている。 ②ロック弁に異物(調理カス等)が詰った。	→ 急冷 か、おもりを傾け、蒸気をぬく。(箸の先等で表示ピンを押さえる。圧力があれば蒸気が出る。) → 箸の先等で表示ピンを押さえる。圧力がなければそのまま落下する。ロック弁を取りはずし、掃除する。

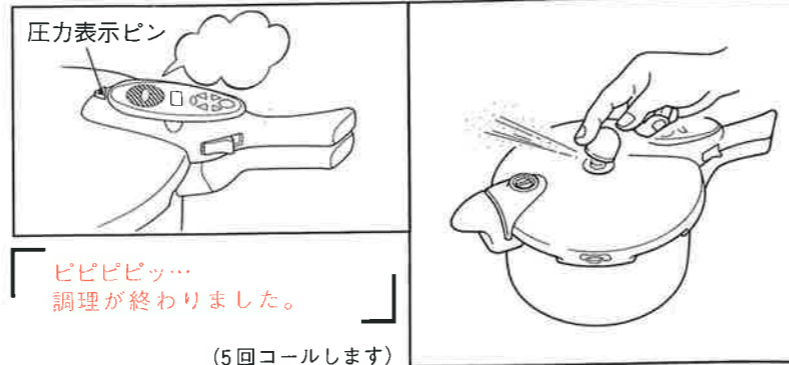
## ●調理が終わったら圧力を抜きます。

10

調理の終わりをタイマーがお知らせします。(アラームは30秒間鳴り続けますので、いずれかのキーを押して止めてください。)

おもりを手前に傾け(そのまま手をはなすと傾いたままの状態になります。)内部の圧力を抜いてください。(蒸らし時間のない場合も同様です。シューと蒸気が完全に抜けきるまで傾けたままにします。)

※少量の材料や蒸らし時間が長いと、蒸らし時間内に圧力が抜け圧力表示ピンが下がる場合があります。



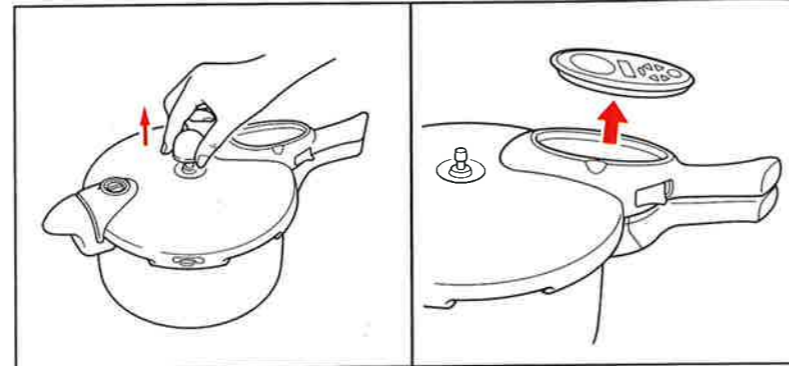
圧力表示ピン  
ピピピピッ...  
調理が終わりました。

(5回コールします)

11

内部の圧力が抜けきると圧力表示ピンが下がります。

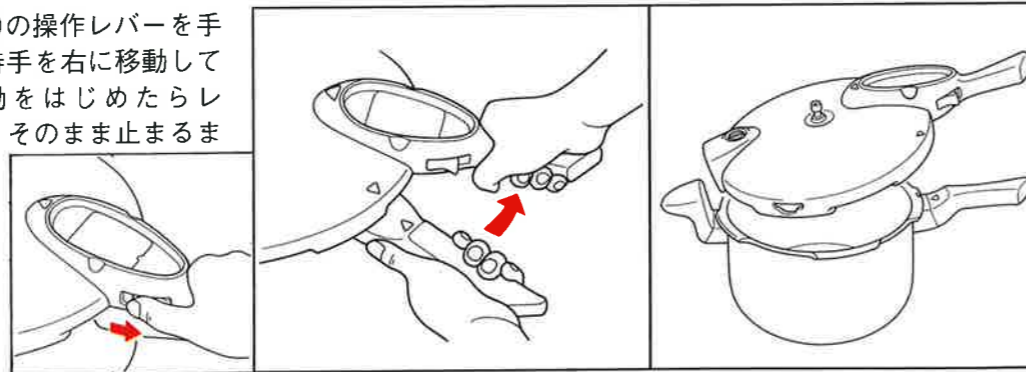
圧力表示ピンが下がったことを確認したら、おもりを真っすぐ上に抜き取り、タイマーをはずしてください。(ふたに取り付けたまま移動すると、タイマーがはずれることがあります。落下等により衝撃を与えると、機能を損なうことがありますので、移動時はタイマーを取り外してください。)



## ●ふたを開けます。

12

ふたの持手(とって)の操作レバーを手前に引きながら、持手を右に移動して下さい。右に移動をはじめたらレバーから指を離し、そのまま止まるまで移動してください。ふたを持ち上げ鍋から離します。



弱火  
3分  
加熱

**加熱時間** はおもりがゆれ始めてからの調理時間

材料を入れ、ふたをセットしたら、沸騰するまで強火にかけます。沸騰し始め、おもりが動き始めたら、加熱時間のスタートです。おもりがゆっくり動く程度に火を弱め、加熱時間終了まで続けます。※おもりが勢よく動いている必要はありません。トロ火の時は一時的におもりの回転が止まっても、内部の圧力が上昇すれば再び動き出します。

SSSS  
10分  
蒸らし

**蒸らし時間** は火を消してから余熱を利用した調理時間

所定の加熱時間終了後、火を止めてそのままふたを開けず、余熱を利用した調理時間です。火を止めても、10~15分は圧力鍋の中の温度は100度以上を保ち、調理が進行します。「急冷」の必要の料理以外はすべて「蒸らし」を行いません。

急冷

**急冷** は加熱時間終了後すぐに水につけて冷やします

煮すぎや、ゆすぎを防ぐために行ないます。あらかじめ洗い桶やボール等に水を入れておき、本体を水につけます。内部の圧力が下がったことを圧力表示ピンで確認の上、おもりを取り外し、ふたを開けてください。



量が増えても加熱時間、蒸らし時間は同じです。沸騰するまでの時間は、量の多いものほど長くなりますが、沸騰した後(おもりが動き始めてから)の加熱時間及び蒸らし時間は同じ材料であれば同一時間です。材料によっておよその時間を理解しておくくと便利です。(29ページ)

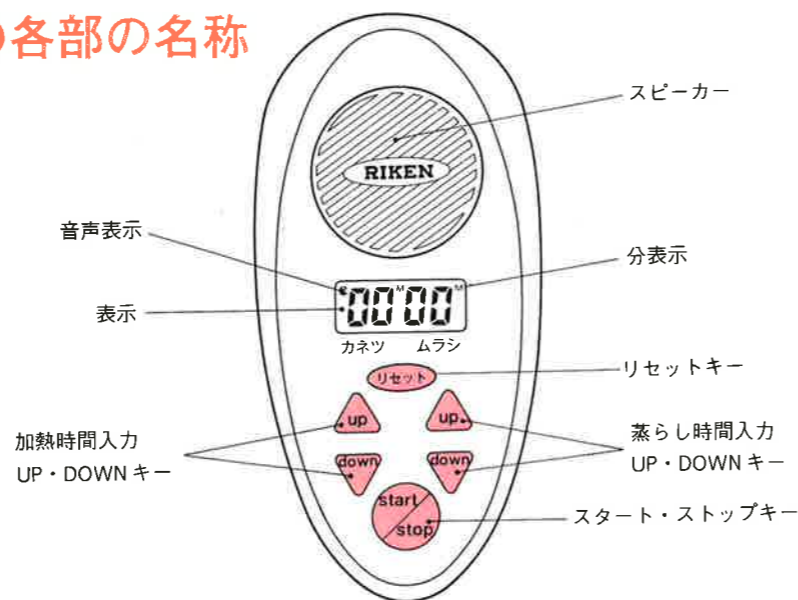


# ツインタイマーについて

## ●ツインタイマーの特長

- ・加熱時間・蒸らし時間を同時にセットできます。
- ・スタートキーを押してからは手間いらず、加熱時間から蒸らし時間へ自動で切り替わります。
- ・調理の区切りは音声がお知らせします。
- ・キーを押して操作が確実に行なえると確認音がピッと鳴ります。(リセットキーをのぞく)

## ●各部の名称



## ●ご使用上の注意

<p><b>1 防水性について</b></p> <p>簡易防水ですので、水中や直接水に触れるご使用は避けください。</p>	<p><b>2 温度について</b></p> <p>高温になる場所（圧力鍋の所定の位置以外で火気のあたる場所や暖房器具）や直射日光にさらさないでください。</p>	<p><b>3 ショックについて</b></p> <p>硬い床面に落とす等、強いショックを与えないでください。故障の原因となることがあります。また操作キーを爪やボールペン等がったもので押さないでください。</p>	<p><b>4 化学薬品・ガスについて</b></p> <p>化学薬品・ガスの中での長時間の使用は避けください。</p>	<p><b>5 お手入れについて</b></p> <p>ケース等についた汚れや水分は、乾いた柔らかい布で拭いて下さい。湿った布やベンジン、シンナー、みがき粉、各種ブラシ等は使わないで下さい。</p>
---	---	--	--	---

## ●電池の交換について

電池が消耗すると、表示が薄くなったり、アラーム音が小さくなったりします。その時は、下記の要領で電池を交換して下さい。(購入時に組み込まれている電池は、工場出荷時のモニター用電池ですので、寿命が1年に満たない場合があります。)

<p>①裏面のネジを外し、裏ふたを外して下さい。</p>	<p>②使用済電池を取り出し、新しい電池の+に注意して、お取り替え下さい。電池は2個同時に交換して下さい。(リチウム電池 CR2032)</p>	<p>③裏ふたを元のように入れ、ネジを締めて下さい。</p>	<p>※電池は最寄りの電気店、スーパーにて購入、交換して下さい。交換後は、リセットキーを押して下さい。</p>
------------------------------	--	--------------------------------	---

## ●電池の取扱いについて

1. 消耗した電池をそのままにしておきますと液もれにより本機をいためたりすることがありますのでご注意ください。
2. 電池は火中に投じないで下さい。破裂する恐れがあります。
3. 電池は幼児の手の届かないところに置いてください。万一、飲み込んだ場合には、ただちに医師にご相談ください。

## ●操作のしかた

①リセット		カネツ・ムラシの表示をリセットするときは <b>リセット</b> キーを押してください。 <b>88:88</b> 表示後 (2秒間) リセットされます。又、表示が消えたり全てのキーの機能が働かなくなるなどの異常が発生したときもリセットを行ってください。
②設定時間のセット		加熱時間、蒸らし時間のそれぞれを△か▽のいずれかで設定時間通りにセットしてください。 左の表示は加熱時間3分、蒸らし時間10分のセット状態です。 △か▽のキーを数秒押し続けると早送りします。
③加熱時間のスタート		<b>start/stop</b> キーを押してスタートします。分表示の時はMマークが点滅し、1分未満では秒表示がカウントダウンします。 タイマーを途中で止めたい時は <b>start/stop</b> キーを押しますと、タイマーはストップします。
④アラーム・音声の停止		操作板上のリセットをのぞくいずれかのキーを押してください。セット時間になりますと、アラームと音声で30秒間鳴り続けます。いずれかのキーを押すと止まります。 この時リセットキーを押すと、リセットされてしまいます。

## ●製品仕様

- |               |                              |
|---------------|------------------------------|
| 1. 常温でのタイマー精度 | セット時間1分につき ±0.3秒以内           |
| 2. 使用温度範囲     | 0℃～60℃                       |
| 3. 表示方法       | 液晶デジタル表示                     |
| 4. アラーム       | 電子音・音声                       |
| 5. 使用電池       | リチウム電池 (CR2032) 2個           |
| 6. 電池寿命       | 約1年 (1回/日使用)                 |
| 7. セット時間      | 最大60分まで、1分単位                 |
| 8. 防水性        | 防滴構造                         |
| 9. 大きさ        | 54 (W) × 110 (H) × 10 (T) mm |
| 10. 重量        | 約45g                         |

